



Cisco Unity Connection リリースノート Release 2.0(1)

Published June 28, 2007

このリリース ノートは、Cisco Unity Connection リリース 2.0(1) および Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) リリース 6.0(1) 対応 Connection に関するソフトウェアのダウンロード、新規および変更されたサポート、新規および変更された機能、未解決および解決済みの警告、さらにマニュアル アップデートについて説明しています。



(注)

このリリースで、Cisco Unity Connection は Microsoft Windows ベースのソリューションから Linux ベースのソリューションに移行され、スタンドアロン Connection と、Cisco Unified Communications Manager Business Edition 対応 Connection の 2 種類の構成で使用できるようになりました。このリリース ノートでは、両方の構成について説明しています。機能および技術上の変更点については、「[新規および変更された要件とサポート](#)」、「[新機能](#)」、および「[変更された機能](#)」の各項目を参照してください。

内容

- [システム要件 \(P. 2\)](#)
- [関連資料 \(P. 4\)](#)
- [新規および変更された要件とサポート \(P. 5\)](#)
- [新機能 \(P. 9\)](#)
- [変更された機能 \(P. 9\)](#)
- [インストールと移行に関する情報 \(P. 11\)](#)
- [警告 \(P. 16\)](#)
- [マニュアルのアップデート \(P. 18\)](#)
- [技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン \(P. 21\)](#)



Americas Headquarters:
Cisco Systems, Inc., 170 West Tasman Drive, San Jose, CA 95134-1706 USA

Copyright © 2007 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

OL-14335-01-J

システム要件

Cisco Unity Connection 関連

Connection の最新の要件は、『Cisco Unity Connection Release 2.0 システム要件』に記載されています。

サポートについては、『Cisco Unity Connection Release 2.x サポートされるハードウェア/ソフトウェアおよびサポート ポリシー』を参照してください。

Cisco Unified CMBE 対応 Cisco Unity Connection 関連

Connection の最新の要件は、『Cisco Unity Connection システム要件 Cisco Unified Communications Manager Business Edition Release 6.0 対応』に記載されています。

サポートについては、『Cisco Unity Connection サポートされるハードウェア/ソフトウェアおよびサポート ポリシー Cisco Unified Communications Manager Business Edition Release 6.x 対応』を参照してください。

互換性についての情報

次のマニュアルには、Cisco Unity Connection および Cisco Unified CMBE 対応 Connection との適合性が確認されている最新バージョンの組み合わせが記載されています。

- 互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザワークステーション上のソフトウェア
- SCCP 互換性マトリクス : Cisco Unity Connection/Cisco Unified Communications Manager/Cisco Unified Communications Manager Express
- SIP トランク互換性マトリクス : Cisco Unity Connection/Cisco Unified Communications Manager/Cisco Unified Communications Manager Express

ソフトウェアバージョンの特定

この項では、次のソフトウェアについて使用しているバージョンを特定する手順を説明します。

- [Cisco Unity Connection \(P. 2 \)](#)
- [Cisco Personal Communications Assistant \(P. 3 \)](#)

Cisco Unity Connection

Cisco Unity Connection の管理を使用して、Cisco Unity Connection のバージョンを特定する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[ナビゲーション (Navigation)] リストの右上にある [バージョン情報 (About)] をクリックします。

Connection のバージョンが Cisco Unity Connection の管理の下に表示されます。

コマンドライン インターフェイスを使用して、Cisco Unity Connection のバージョンを特定する

- ステップ 1** command-line interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) セッションを開始します。詳細については、Cisco Unified Communications Operating System アドミニストレーションのヘルプを参照してください。
- ステップ 2** `show cuc version` コマンドを実行します。
-

Cisco Personal Communications Assistant**Cisco Personal Communications Assistant (PCA) のバージョンを特定する**

- ステップ 1** Cisco PCA にログインします。
- ステップ 2** Cisco PCA ホームページで、右上の [バージョン情報 (About)] をクリックします (このリンクは、Cisco PCA のすべてのページにあります)。
- ステップ 3** Cisco Unity Connection のバージョンが表示されます。Cisco PCA のバージョンは Connection のバージョンと同じです。
-

関連資料

Cisco Unity Connection 関連

Cisco.com 上の Cisco Unity Connection に関するマニュアルの説明および URL については、『*Documentation Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。このマニュアルは、Connection に同梱されており、
http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_documentation_roadmaps_list.html でも入手可能です。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition 関連

Cisco.com 上の Cisco Unified Communications Manager Business Edition に関するマニュアルの説明および URL については、『*Cisco Unified Communications Manager Business Edition Documentation Guide*』を参照してください。このマニュアルは Cisco Unified CMBE に同梱されており、
http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/products_documentation_roadmaps_list.html でも入手可能です。



(注)

Cisco.com 上の Cisco Unified CMBE 6.x バージョン対応 Cisco Unity Connection に関するリンク「*ユーザワークステーション セットアップガイド*」、「*ユーザガイド*」、および「*Cisco Unity Connection ボイス コマンド*」をクリックすると、「Cisco Unity Connection Release 2.x」と表示されたマニュアルに移動します。表示はそうになっていますが、これらのマニュアルの内容はすべて、両方の Connection 構成に適用されます。

新規および変更された要件とサポート

この項では、このリリースの新規および変更された要件とサポートについて説明します。これより前のバージョンの Cisco Unity Connection に関する新規および変更されたサポートについては、該当するバージョンのリリース ノートを参照してください。Cisco Unity Connection の全バージョンのリリース ノートは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で入手可能です。

Cisco Unity Connection のコンポーネントで使用可能な言語

この項では、Cisco Unity Connection のコンポーネントで使用可能な言語について説明します。このリリースで追加された言語にはアスタリスク (*) を付けてあります。

Cisco Personal Communications Assistant (PCA)

アラビア語 (サウジアラビア)*、中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (標準)、英語 (アメリカ合衆国)、フランス語 (標準)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (コロンビア)、スペイン語 (ヨーロッパ)、スウェーデン語

Cisco Personal Communications Assistant (PCA) のヘルプ

アラビア語 (サウジアラビア)、中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (標準)、英語 (アメリカ合衆国)、フランス語 (標準)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (コロンビア)、スペイン語 (ヨーロッパ)、スウェーデン語 (標準)

Cisco Unity Connection の管理

英語 (アメリカ合衆国)、日本語

Cisco Unity Connection の管理のヘルプ

英語 (アメリカ合衆国)

システム プロンプト

アラビア語 (サウジアラビア)、中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (標準)、英語 (オーストラリア)、英語 (イギリス)、英語 (アメリカ合衆国)、英語 (TTY/TDD) (アメリカ合衆国)、フランス語 (カナダ)、フランス語 (標準)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (コロンビア)、スペイン語 (ヨーロッパ)、スウェーデン語 (標準)

Text-To-Speech エンジン

中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (標準)、英語 (オーストラリア)、英語 (イギリス)、英語 (アメリカ合衆国)、フランス語 (カナダ)、フランス語 (標準)、ドイツ語、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (コロンビア)、スペイン語 (ヨーロッパ)、スウェーデン語

音声認識エンジン

英語 (アメリカ合衆国)

管理者またはインストール担当者を対象とする製品マニュアル

英語 (アメリカ合衆国)、日本語

エンド ユーザを対象とする製品マニュアル

アラビア語 (サウジアラビア)、中国語 (PRC)、中国語 (台湾)、デンマーク語、オランダ語 (標準)、英語 (アメリカ合衆国)、フランス語 (標準)*、ドイツ語*、イタリア語、日本語、韓国語、ポルトガル語 (ブラジル)、ロシア語、スペイン語 (コロンビア)、スペイン語 (ヨーロッパ)、スウェーデン語

Cisco Unified MeetingPlace Express

Cisco Unity Connection は、Cisco Unified MeetingPlace Express との連動をサポートします。詳細については、『システム アドミニストレーション ガイド』の「Cisco Unified MeetingPlace Express との連動」の章を参照してください。

Cisco Unity Connection ライセンスに関する変更点

- Cisco Unity Connection 1.x から Connection 2.x への移行には、アップグレード ライセンスの購入が必要です。Connection 1.x から Connection 2.x または Cisco Unity 4.2 以降から Connection 2.x への移行の詳細については、P.14 の「Cisco Unity Connection への移行」を参照してください。
- VPIM ネットワーキングには、適切なライセンスが必要です。詳細については、『システム アドミニストレーション ガイド』の「VPIM ネットワークの使用法」および「ライセンスの管理」の各章を参照してください。

Microsoft Exchange Server 2007

Cisco Unity Connection は、Exchange 2007 に関して次の機能をサポートするようになりました。これらは、以前は Exchange 2000 および Exchange 2003 の場合のみサポートしていた機能です。

- Exchange 2007 の予定表および連絡先のデータに基づいたパーソナル着信転送ルール
- Text-To-Speech の使用による Exchange 2007 の電子メールへのアクセス

新しいマニュアル

- この項では、このリリースで使用可能な新しい Cisco Unity Connection マニュアルおよび Cisco Unified Communications Manager Business Edition マニュアルについて説明します。



(注) このマニュアルには、日本語化されたマニュアル名と英語版 URL が併記された箇所があります。日本語版マニュアルを参照する場合は、次の URL にアクセスしてください。

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/index_uc_cuc.shtml

Cisco Unity Connection のアドミニストレーション ガイド

次のマニュアルが http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_maintenance_guides_list.html で入手可能です。

- *Cisco Unity Connection サービスアビリティ アドミニストレーション ガイド*

- *Cisco Unified Communications Operating System アドミニストレーション ガイド for Cisco Unity Connection*
- *Cisco Unified Serviceability アドミニストレーション ガイド for Cisco Unity Connection*
- *Disaster Recovery System アドミニストレーション ガイド for Cisco Unity Connection*
- *Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーション ガイド for Cisco Unity Connection*

各マニュアルの説明については、『*Documentation Guide for Cisco Unity Connection*』を参照してください。このマニュアルは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_documentation_roadmaps_list.html で入手可能です。

Cisco Unity Connection のインテグレーション ガイド

Cisco Unity Connection 関連

次のほとんどの Cisco Unity Connection インテグレーション ガイドは、それぞれ 1 冊にまとめられており、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/products_installation_and_configuration_guides_list.html で入手可能です。

- *Cisco Unified Communications Manager SCCP インテグレーション ガイド for Cisco Unity Connection Release 2.0*
- *Cisco Unified Communications Manager SIP トランク インテグレーション ガイド for Cisco Unity Connection 2.0*
- *PIMG Integration Guide for Cisco Unity Connection 2.0*

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) 対応 Cisco Unity Connection 関連

- 『*Cisco Unified Communications Manager SCCP インテグレーション ガイド for Cisco Unity Connection : Cisco Unified CMBE Release 6.x 対応*』は、http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/products_installation_and_configuration_guides_list.html で入手可能です。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition に関するマニュアル

Cisco.com 上の Cisco Unified Communications Manager Business Edition に関するマニュアルの説明および URL については、『*Cisco Unified Communications Manager Business Edition Documentation Guide*』を参照してください。このマニュアルは、Cisco Unified CMBE に同梱されており、

http://www.cisco.com/en/US/products/ps7273/products_documentation_roadmaps_list.html でも入手可能です。

Cisco Unity Connection との適合性が確認されている電話システム連動

Cisco Unity Connection 関連

次の電話システム連動は、Cisco Unity Connection との適合性が確認されています。

- Cisco Unified Communications Manager 6.0
- Cisco Unified Communications Manager Express 4.1

サポートされる電話システム連動 (Cisco Unity Connection バージョン 2.0(1) のリリース以降に適合性が確認されている連動を含む) に関する最新のリストについては、『Cisco Unity Connection サポートされるハードウェア/ソフトウェアおよびサポート ポリシー』の「サポートされる電話システム連動」の項を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) 対応 Cisco Unity Connection 関連

Cisco Unified Communications Manager 6.0 は Cisco Unity Connection との適合性が確認されています。

Cisco Unity Connection ユーザ ワークステーションでの適合性が確認されているソフトウェア

次のソフトウェアは、Cisco Unity Connection ユーザ ワークステーションでの適合性が確認されています。

- Microsoft Windows Vista オペレーティング システム
- すべてのオペレーティング システム上の Firefox 2.0
- すべてのサポート対象の Windows オペレーティング システム上の Internet Explorer 7.0

ユーザ ワークステーションでの適合性が確認されているソフトウェア (Cisco Unity Connection バージョン 2.1(1) のリリース以降に適合性が確認されているソフトウェアを含む) の最新バージョンの組み合わせについては、『互換性マトリクス : Cisco Unity Connection とユーザ ワークステーション上のソフトウェア』を参照してください。

VPIM ネットワーキング

Cisco Unity Connection は VPIM ネットワーキングをサポートします。詳細については、『システム アドミニストレーション ガイド』の「VPIM ネットワークの使用方法」および「ライセンスの管理」の各章を参照してください。

新機能

この項では、このリリースの新機能について説明します。これより前のバージョンの Cisco Unity Connection に関する新機能については、該当するバージョンのリリース ノートを参照してください。Cisco Unity Connection の全バージョンのリリース ノートは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.html で入手可能です。

新規情報

リリース 2.01 では、次の機能が導入されました。

- Phone View 機能。Phone View の設定については、『システム アドミニストレーション ガイド』の「Phone View の設定」の章を参照してください。ユーザに対し、この機能を有効にする方法については、『ユーザの移動、追加、変更 ガイド』の「ユーザ アカウントの設定によって制御される機能の設定」の章の「Phone View」の項を参照してください。
- デフォルト オプションとしてのストリームライン送信メッセージの形式メニュー。

変更された機能

この項では、このリリースで変更された機能について説明します。これより前のバージョンの Cisco Unity Connection に関する変更された機能については、該当するバージョンのリリース ノートを参照してください。Cisco Unity Connection の全バージョンのリリース ノートは、http://www.cisco.com/en/US/products/ps6509/prod_release_notes_list.htm で入手可能です。

機能上の変更点

このリリースでは、Cisco Unity Connection のオペレーティング システムの変更に伴い、次の機能が変更または使用不可になりました。

- Custom Keypad Mapping : 使用不可 (今後のリリースで再び追加される予定)
- SNMP (今後のリリースで再び追加される予定)
- CiscoUnityTools.com の次のツール。
 - CDE Studio : 使用不可 (今後のリリースで再び追加される予定)
 - Gather Unity Subscriber Information : 使用不可 (今後のリリースで再び追加される予定)
 - Subscriber Information Dump : 使用不可 (今後のリリースで再び追加される予定)
- 音声認識ポート数を越えたセッションをサポートしていた別個の音声認識サーバが不要になりました。Connection サーバで必要な数のセッションは、Cisco Unity Connection でサポートできるようになりました。

技術上の変更点

Cisco Unity Connection のオペレーティング システムの変更に伴う技術上の変更点は次のとおりです。

- Connection 1.x から Connection 2.0(1) に直接アップグレードすることはできませんが、Connection 1.x または Cisco Unity 4.2 以降から Connection 2.0(1) にユーザ データを移行することはできます。詳細については、P.14 の「Cisco Unity Connection への移行」を参照してください。
- Cisco Unity-CM TSP は適用されなくなりました。

- Cisco Unity Connection Server Updates ウィザードは、Microsoft のセキュリティ アップグレード および Cisco Security Agent for Cisco Unity を Connection 1.x システムにインストールするウィザードでしたが、適用されなくなりました。Connection サーバおよび Cisco Unified CMBE サーバは Linux オペレーティングシステムを実行するようになり、Cisco Security Agent スタンドアロン エージェントは Connection または Cisco Unified CMBE をインストールしたときに自動的にインストールされるようになりました。
- Log Viewer Port および Status Monitor が Real-Time Monitoring Tool に組み込まれました。詳細については、『*Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド*』を参照してください。
- いくつかのプラットフォームに固有、および Connection 固有の管理タスクを command-line interface (CLI; コマンドライン インターフェイス) を使用して実行できるようになりました。CLI の詳細については、『*Cisco Unified Communications Operating System アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection*』を参照してください。
- Connection の Disaster Recovery Backup ツールおよび Restore ツールが Disaster Recovery System に置き換えられました。詳細については、『*Disaster Recovery System アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection*』を参照してください。
- 管理インターフェイスのページが 5 つのコンポーネントに分割されました。詳細については、次の表に示した該当マニュアルを参照してください。

コンポーネント	マニュアル
Cisco Unity Connection の管理	システム アドミニストレーション ガイド
Cisco Unified Operating System Administration	<i>Cisco Unified Communications Operating System</i> アドミニストレーション ガイド
Cisco Unified Serviceability	<i>Cisco Unified Serviceability</i> アドミニストレーション ガイド
Cisco Unity Connection Serviceability	<i>Cisco Unity Connection</i> サービスアビリティ アドミニストレーション ガイド
Disaster Recovery System	<i>Disaster Recovery System</i> アドミニストレーション ガイド

- BAM は、Bulk Administration Tool で置き換えられ、Cisco Unity Connection の管理の一部になりました。
- Cisco Unity Connection の管理の BulkEdit 部分。

インストールと移行に関する情報

- [英語（アメリカ合衆国）版カンパセーションおよびパーソナル着信転送ルールの使用に必要なライセンス タグ（P. 11）](#)
- [Cisco Unity Connection の言語のダウンロードとインストール（P. 12）](#)
- [Cisco Unity Connection への移行（P. 14）](#)
- [Cisco Unity Connection のインストール（P. 15）](#)

英語（アメリカ合衆国）版カンパセーションおよびパーソナル着信転送ルールの使用に必要なライセンス タグ

Connection カンパセーションで英語（アメリカ合衆国）を使用する場合、またはパーソナル着信転送ルールをユーザが作成できるようにするには、Connection ライセンスにライセンス タグ LicRegionIsUnrestricted が含まれている必要があります。Connection ライセンスに LicRegionIsUnrestricted タグが含まれておらず、これらの機能を使用する必要がある場合は、このタグが含まれたライセンスをインストールしてください。ライセンスをインストールしたら、Connection を再起動する必要があります（このタグがないライセンスは、アメリカ合衆国以外での使用にのみ適しています）。

LicRegionIsUnrestricted タグが含まれているライセンスをインストールしないことを選択した場合、Connection の 1 つ以上の言語をインストールする必要があります。

Connection のデモンストレーション ライセンスには LicRegionIsUnrestricted タグが含まれているので、デモンストレーション システムでは英語（アメリカ合衆国）を使用できます。

LicRegionIsUnrestricted ライセンス タグが含まれているかどうかを確認する

-
- ステップ 1** Cisco Unity Connection の管理で、[システム設定 (System Settings)] の下の [ライセンス (Licenses)] をクリックします。
 - ステップ 2** [ライセンス (Licenses)] ページで、最初のライセンス ファイルの名前をクリックします。
 - ステップ 3** [ライセンスの表示 (View License)] ページの [File Content] ボックスで、テキスト「LicRegionIsUnrestricted」を検索します。
 - ステップ 4** 最初のファイルでこのテキストが見つからなかった場合は、[ライセンス (Licenses)] ページにリストされている残りのライセンス ファイルをすべて検索します。
 - ステップ 5** どのライセンス ファイルにも「LicRegionIsUnrestricted」がない場合、このタグを含むライセンスを取得してから Connection 2.0(1) をインストールします。
-

Cisco Unity Connection の言語のダウンロードとインストール



注意

ダウンロードおよびインストールする言語のバージョンは、インストールされている Cisco Unified Communications Operating System のバージョンと一致している必要があります。一致していない場合、言語のインストールは失敗します。



注意

ライセンスの設定によっては、英語(アメリカ合衆国)を使用できない場合がありますので、Connection を機能させるには他の言語をインストールする必要があります。詳細については、P.11 の「英語(アメリカ合衆国)版カンパセーションおよびパーソナル着信転送ルールの使用に必要なライセンスタグ」を参照してください。

Cisco Unity Connection の言語をダウンロードする

- ステップ 1** 高速インターネット接続が可能なコンピュータで、Cisco Unity Connection の Software Download ページ (<http://www.cisco.com/cgi-bin/tablebuild.pl/unityconnection>) にアクセスします。



(注) Software Download ページにアクセスするには、Cisco.com に登録ユーザとしてログインしている必要があります。

- ステップ 2** ページ最上部の [Documentation and additional downloads are also available] の下にある [Cisco Unity Connection 2.0 Images] をクリックします。

- ステップ 3** カスタマー登録フォームに記入し、[Submit] をクリックします。

- ステップ 4** インストールする言語のファイルをダウンロードするのに十分なハードディスク容量が、使用しているコンピュータにあることを確認してください(ダウンロードするファイルのサイズは、Cisco Unity Connection Images Software Download ページに表示されます)。

各言語のファイル名は、uc-locale-<言語を表す 2 文字の略語>-<国を表す 2 文字の略語>-<バージョン>.cop.sgn です。

- ステップ 5** Cisco Unity Connection Images Software Download ページで、ダウンロードするファイルの名前をクリックします。

- ステップ 6** 画面の指示に従ってダウンロードを完了します。

MD5 の値を書き留めます。

- ステップ 7** インストールする各 Connection 言語について、**ステップ 5** と **ステップ 6** を繰り返します。



(注) 最大 5 つの言語を Connection サーバにインストールできます。

ステップ 8 ダウンロードしたファイルごとに、チェックサム ジェネレータを使用して、MD5 チェックサムが Cisco.com で示されているチェックサムと一致することを確認します。値が一致しない場合、ダウンロードしたファイルは破損しています。



注意

破損したファイルを使用してソフトウェアをインストールしないでください。予期しない結果につながる場合があります。MD5 の値が一致しない場合は、ダウンロードしたファイルの値が Cisco.com で示されている値と一致するまでファイルのダウンロードを繰り返してください。

無料のチェックサム ツールがインターネットで入手可能です。たとえば、Microsoft File Checksum Integrity Verifier ユーティリティがあります。このユーティリティは、Microsoft Knowledge Base の文書番号 841290 の「*Availability and Description of the File Checksum Integrity Verifier Utility*」で説明されています。この記事には、ユーティリティをダウンロードするためのリンクも記載されています。

ステップ 9 ダウンロードしたファイルを FTP サーバまたは SFTP サーバにコピーするか、CD または DVD に焼き付けます。ファイルをディスクに焼き付ける場合、次の作業を行います。

- Joliet ファイルシステムを使用します。このファイルシステムは、64 文字までのファイル名に対応します。
- 使用するディスク焼き付け用アプリケーションに、焼き付け先ディスクの内容を確認するオプションがある場合は、そのオプションを選択します。これにより、焼き付け先ディスクの内容がソースファイルと比較されます。
- ディスクに「Cisco Unity Connection 2.0(1) languages」とラベルを付けます。

ステップ 10 ダウンロードしたファイルを削除して、ディスクの領域を解放します。

Cisco Unity Connection の言語をインストールする

ステップ 1 言語をインストールする前に、Connection の一部のサービスを停止します。

- a. Cisco Unified CM の管理者のユーザ名とパスワードを使用して、Cisco Unity Connection Serviceability にログインします。
- b. [Tools] メニューの [Control Center - Feature Services] をクリックします。
- c. 次のサービスを停止します。
 - Connection Conversation Manager
 - Connection Mixer
- d. サービスが停止したら、Cisco Unity Connection Serviceability からログアウトします。

ステップ 2 Cisco Unified Communications Operating System の管理者のユーザ名とパスワードを使用して、Cisco Unified Operating System Administration にログインします。

ステップ 3 次の手順で言語をインストールします。

- a. [Software Upgrades] メニューの [Install/Upgrade] をクリックします。

- b. [Software Installation Upgrade] ページで、適切な値を入力し、言語ファイルの場所と、その場所にアクセスできるアカウントのクレデンシャルを指定します。
- c. [Next] をクリックします。
- d. インストールする言語を選択します。
- e. [Next] をクリックし、言語ファイルが Connection サーバにダウンロードされるのを待ちます。
- f. [File Checksum Details] に示された MD5 の値と、P.12 の「Cisco Unity Connection の言語をダウンロードする」で書き留めた MD5 の値を比較します。
- g. [Next] をクリックし、言語ファイルがインストールされるのを待ちます。
[Installation Log] フィールドに「The package was successfully installed」と表示された場合、インストールは成功しています。表示されない場合、インストールは失敗しています。詳細については、Real-Time Monitoring Tool でインストール ログを参照してください。

ステップ 4 追加の言語をインストールする場合は、[Install Another] をクリックし、すべての言語がインストールされるまで**ステップ 3**を繰り返します。

ステップ 5 Cisco Unified Operating System Administration からログアウトします。

ステップ 6 次の手順で Connection サーバを再起動します。

- a. Cisco Unified CM の管理者のユーザ名とパスワードを使用して、Cisco Unity Connection Serviceability にログインします。
- b. [Tools] メニューの [Control Center - Feature Services] をクリックします。
- c. 次のサービスを開始します。
 - Connection Conversation Manager
 - Connection Mixer
- d. サービスが再開したら、Cisco Unity Connection Serviceability からログアウトします。

Cisco Unity Connection への移行

Cisco Unity Connection のインストール先は Windows を実行するサーバから Linux を実行するサーバになったため、Connection 1.x から直接アップグレードすることはできません。Connection 1.x または Cisco Unity 4.2 以降のシステムを Connection 2.0(1) に変換するには、次の手順を実行する必要があります。

1. Connection 1.x または Cisco Unity のユーザデータをエクスポートします。



(注) 移行時に保持されるのは、ユーザデータとボイスメッセージのみです。ボイスメッセージはオプションで選択した場合に保持されます。システムレベルの設定データ（たとえば、テンプレートやサービスクラス）は、手動で設定する必要があります。

2. Connection 2.0(1) DVD を使用して、すべてのソフトウェアをサーバに再インストールします。
3. テンプレート、サービスクラス、およびシステムレベルのその他の設定データを再作成します。
4. Connection 1.x または Cisco Unity からエクスポートしたデータをインポートします。

Connection 1.x から Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) への移行パスはサポートされていません。Connection 1.x から Cisco Unified CMBE へ移行する場合は、すべてのソフトウェアを再インストールし、すべてのシステム データおよびユーザ データを再作成する必要があります。

詳細については、次のマニュアルを参照してください。

- 『Cisco Unity Connection システム要件』の「Cisco Unity Connection 1.x からバージョン 2.x への移行の要件」の項、または「Cisco Unity 4.2 以降から Cisco Unity Connection バージョン 2.x への移行の要件」の項。
- 『Cisco Unity Connection ユーザの移動、追加、変更ガイド』の「ユーザ アカウントとメッセージの移行」の章。

Cisco Unity Connection のインストール

Cisco Unity Connection システムの新規インストールの手順については、『Cisco Unity Connection インストールガイド Release 2.x』を参照してください。

Cisco Unified Communications Manager Business Edition (CMBE) システムの新規インストールの手順については、『Installing Cisco Unified Communications Manager Business Edition Release 6.x』を参照してください。

警告

この項では、重大度 1、2、および 3 の警告について説明します。

Bug Toolkit (お客様が必要に応じて問題点を照会できるオンライン ツール) を使用することにより、すべてのリリースについての重大度の警告だけでなく、Cisco Unity Connection バージョン 2.0(1) および Cisco Unified Communications Manager Business Edition バージョン 6.0(1) 対応 Connection に関する最新の警告情報も検索できます。Bug Toolkit は、
http://www.cisco.com/pcgi-bin/Support/Bugtool/launch_bugtool.pl で入手可能です。



(注) Bug Toolkit にアクセスするには、Cisco.com に登録ユーザとしてログインしている必要があります。

この項では、Cisco Unity Connection 2.0(1) および Cisco Unified CMBE 6.0(1) 対応 Connection の警告について説明します。

未解決の警告 : Connection リリース 2.0(1) および Cisco Unified CMBE リリース 6.0(1) 対応 Connection

警告番号カラムのリンクをクリックすると、その警告の最新情報が Bug Toolkit に表示されます (次の表は、重大度、コンポーネント、警告番号の順序で警告を表示しています)。

表 1 Connection リリース 2.0(1) および Cisco Unified CMBE 6.0(1) 対応 Connection の未解決の警告

警告番号	重大度	コンポーネント	説明
CSCsi90039	2	telephony	Unity sends 3rd Transfer if Connected received after 2nd Transfer
CSCsg61841	3	admin	CCM and Connection admin in co-res uses different terminology
CSCsh79633	3	admin	Cant record a VPIM location name, after saving the recording its gone
CSCsi47168	3	admin	UC CoRes Sync Users reports incorrect total users
CSCsi47856	3	admin	Audio Text Admin doesn't have proper access to Call Handler management
CSCsi47886	3	admin	CUCA doesn't restrict access appropriately for Audio Text Admin
CSCsi69771	3	admin	SA appears in Japanese & ENU if browser language contains both JPN/ENU
CSCsi83344	3	admin	Deleting UC Demo license produces errors on the license page
CSCsg87802	3	conversations	Invalid selection is not played on several places.
CSCsh26559	3	conversations	Option to mark secure all msgs originating from a call handler missing
CSCsh63504	3	conversations	Convr-AltS: Msg Header - [22] does not repeat msg starting from header.
CSCsh63574	3	conversations	Convr-AltS: Increase/Decrease playback speed - [*8] and [*3] are ignored
CSCsh72760	3	conversations	Discarded msg because below min record length should be logged in RTMT
CSCsh84516	3	conversations	Convr-AltN: Msg Playback[21]and[23]- Doesn't Increase/Decrease speed
CSCsh86853	3	conversations	Convr-OPT: AfterMsgMenu - [00] does not send to (Operator).
CSCsi13930	3	conversations	ISM does not work for contacts when msgs are left via contact's phone
CSCsi28224	3	conversations	NDRResend - (AftRecResendMenu): [*] does not play (Confirm Cancel).
CSCsi31734	3	conversations	NewMsg Stack: If receipts are removed from stack - MWI not extinguished.
CSCsi31831	3	conversations	Convr-Std-StreamLN: Email Msg Menu Help - Contains 4 duplicate prompts.
CSCsi32640	3	conversations	No message menu during reply when user is over send quota
CSCsi32696	3	conversations	UnityConversationsOptional: Actions During Original NDR MessagePlay

表 1 Connection リリース 2.0(1) および Cisco Unified CMBE 6.0(1) 対応 Connection の未解決の警告 (続き)

警告番号	重大度	コンポーネント	説明
CSCsi33114	3	conversations	Conv-STD - RcptPlaybackHelp - PoundSkips: Hear (Marked New) aft Tm-OUT.
CSCsi33224	3	conversations	Conv-OPT: TreatSkippedMsgsSaved [33##]b[##]doesn't mark msg new.
CSCsi33261	3	conversations	Msg Playback: Del Msg1 - Pressing [14] causes (End Of New Messages).
CSCsi34994	3	conversations	NDRs from private and secure msgs sent to contacts don't give reason
CSCsi52485	3	conversations	Special characters in CSV file don't appear imported correct through BAT
CSCsi93197	3	conversations	Voice Enabled Directory Handler will failsafe with locale enabled
CSCsi04407	3	core	Few IMAP performance counters show incorrect values
CSCsg80842	3	database	VUI: GUI allows non-ENU TUI lang config with VUI
CSCsh48472	3	database	DbEvent: RTMT counters do not work and need other modifications
CSCsi27714	3	database	Changing live record beep interval, incorrectly says must restart csmgr
CSCsi28362	3	database	RTMT: Database perf counter shows incorrect instance
CSCsi41114	3	database	Notification rule changes not propagated to Notifier
CSCsi58551	3	database	Viewing Prvt lists through CUCA fails if username (alias) contains a '
CSCsh75184	3	documentation	CUCA: No guidance for System Contact extension field
CSCsh75189	3	documentation	CUCA: No guidance for System Contact fields in Phone Numbers section
CSCsi15645	3	mediamaster	WAV file in media master via Open File option not saved
CSCsh77135	3	messaging	VPIM message with recorded name constructed incorrectly
CSCsi02594	3	messaging	VPIM counters in CUC Message store object do not work
CSCsh93362	3	pca	PCA: Message recording length not honored when recording from Master
CSCsh93367	3	pca	PCA: Re-Record freezes Browser, recording cannot be completed after
CSCsi89605	3	pca	CPCA PCTR Destination dropdown does not populate the translated fields
CSCsh97413	3	phoneapps	VML: Visual message list remains on phone on hang up
CSCsi26450	3	phoneapps	VML: When message marked as-is, do not hear New or Saved
CSCsi15548	3	trap	An interview handler question over 30 seconds in length not played
CSCsh50883	3	utilities	BAT: Ignore voice name column when not migrating
CSCsh83330	3	utilities	BAT: Invalid objects not rejected, template values used instead
CSCse30285	3	vui	VUI tries to match Done command to names, during message addressing
CSCsg75838	3	vui	VUI:Name Res Conversation doesn't accept cancel, hang-up & main menu
CSCsh86820	3	vui	VUI: Pause is not recognized in some places in VUI directory
CSCsh94369	3	vui	VUI says, 'No msgs found' in response to filtering email by sender
CSCsi26768	3	vui	VUI doesn't play msg status after Next or ## during msg playback
CSCsi32763	3	vui	VUI: Load on a 7815 experiences a large number of VUI timeouts
CSCsi35147	3	vui	VUI: Timeout conv on partial match for send does not flow correctly

マニュアルのアップデート

記載誤り

この項では、Cisco Unity Connection および Cisco Unified CMBE 対応 Connection の現行マニュアルでの記載誤りを示し、正しい情報を提供します。特に断りのない限り、正しい情報は将来のマニュアルリリースに反映されます。

ユーザの移動、追加、変更 ガイド：ボイスメールボックスを持つユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド

付録 A「Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool の使用」の項「必須およびオプションの CSV フィールド」の表「ボイスメールボックスを持つユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド」で、VoiceName および VoiceMailPasswordHash が、ユーザを作成およびアップデートする際のオプションのカラム見出しであると誤って示されています。

実際は、Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool は、これらいずれかのカラム見出しの使用をすべてのインスタンスで無視します。したがって、この 2 つの行はこの表から削除すべきでした。

ユーザの移動、追加、変更 ガイド：ボイスメールボックスを持たないユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド

付録 A「Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool の使用」の項「必須およびオプションの CSV フィールド」の表「ボイスメールボックスを持たないユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド」で、VoiceName が、ボイスメールボックスがないユーザを作成およびアップデートする際のオプションのカラム見出しであると誤って示されています。

実際は、Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool は、カラム見出し VoiceName をすべてのインスタンスで無視します。したがって、この行はこの表から削除すべきでした。

ユーザの移動、追加、変更 ガイド：システム連絡先用の必須およびオプションの CSV フィールド

付録 A「Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool の使用」の項「必須およびオプションの CSV フィールド」の表「システム連絡先用の必須およびオプションの CSV フィールド」で、VoiceName が、システム連絡先を作成およびアップデートする際のオプションのカラム見出しであると誤って示されています。

実際は、Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool は、カラム見出し VoiceName をすべてのインスタンスで無視します。したがって、この行はこの表から削除すべきでした。

脱落分

この項では、Cisco Unity Connection の現行マニュアルに含まれていない新情報および追加情報を示します。特に断りのない限り、新情報および追加情報は将来のマニュアルリリースに反映されます。

Cisco Unified Serviceability アドミニストレーション ガイド：Serviceability Reports Archive について

ネットワークが適切に設定されていない場合、Cisco Unified Serviceability の [Serviceability Reports Archive] > [Tools] > [Serviceability Reports Archive] で Serviceability のレポートを表示できません。たとえば、ネットワークで Network Address Translation (NAT; ネットワーク アドレス変換) を使用していて、NAT 内部のレポートにアクセスする場合は、NAT と関連付けられているプライベート

ネットワークの IP アドレスをブラウザの URL に入力します。NAT 外部のレポートにアクセスする場合は、パブリック IP アドレスを入力すると、そのアドレスに応じたプライベート IP アドレスへの変換（マッピング）が NAT によって行われます。

ユーザの移動、追加、変更 ガイド：ボイスメールボックスを持つユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド

付録 A「Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool の使用」の項「必須およびオプションの CSV フィールド」の表「ボイスメールボックスを持つユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド」で、次の行が欠落しています。

表 2 ボイスメールボックスを持つユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド

カラム見出し	作成	アップデート	削除	説明
ImapService_AccountPassword	オプション	オプション	使用不可	<p>この Cisco Unity Connection ユーザにアクセスを許可する Exchange メールボックスと関連付けるユーザパスワード。</p> <p>ANSI または Unicode の英数字、ピリオド、カンマ、空白、特殊文字（`、~、!、@、#、\$、%、^、&、-、_、'）の任意の組み合わせです。長さは最大 256 文字です。</p> <p>ユーザに対して IMAP サービスを追加するには、CSV 入力ファイルに ImapService_RemoteServerDisplayName フィールドおよび ImapService_AccountLogin フィールドの値を含めます。</p> <p>ユーザの IMAP サービスを削除するには、入力ファイルの ImapService_RemoteServerDisplayName フィールドまたは ImapService_AccountLogin フィールドのうち少なくとも一方に %null% を設定します。</p>
MailName	オプション	使用不可	使用不可	<p>SMTP アドレスの @ 記号の前の部分を構築するために使用される名前。</p> <p>名前は、有効な SMTP アドレスに変換できない Unicode エイリアス用に必要です。</p>
SmtptAddress_TextPager1	オプション	オプション	使用不可	<p>ユーザの SMTP アドレス。このアドレスは、Outlook Express などの SMTP 対応クライアントのユーザを識別します。アドレスを指定しない場合、Connection はエイリアスを使用してアドレスを形成します。</p> <p>SMTP アドレスに非 ASCII 文字を含めることはできません。したがって、エイリアスに非 ASCII 文字が含まれている場合、受け入れ可能な SMTP アドレスを指定する必要があります。</p>

表2 ボイスメールボックスを持つユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド (続き)

カラム見出し	作成	アップデート	削除	説明
WebDavService_AccountPassword	オプション	オプション	使用不可	<p>この Cisco Unity Connection ユーザがアクセスできる Exchange メールボックスと関連付けるユーザパスワード。</p> <p>ANSI または Unicode の英数字、ピリオド、カンマ、空白、特殊文字 (`、 ~、 !、 @、 #、 \$、 %、 ^、 &、 -、 _、 ') の任意の組み合わせです。長さは最大 256 文字です。</p> <p>ユーザに対して WebDav サービスを追加するには、CSV 入力ファイルに WebDavService_AccountLogin フィールド、WebDavService_RemoteServerDisplayName フィールド、および WebDavService_ServerUrlSuffix フィールドの値を含めます。</p> <p>ユーザの WebDav サービスを削除するには、CSV 入力ファイルの WebDavService_AccountLogin フィールド、WebDavService_RemoteServerDisplayName フィールド、または WebDavService_ServerUrlSuffix フィールドのうち少なくとも 1 つのフィールドに %null% を設定します。</p>

ユーザの移動、追加、変更 ガイド：ボイスメールボックスを持たないユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド

付録 A「Cisco Unity Connection Bulk Administration Tool の使用」の項「必須およびオプションの CSV フィールド」の表「ボイスメールボックスを持たないユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド」で、次の行が欠落しています。

表3 ボイスメールボックスを持たないユーザ用の必須およびオプションの CSV フィールド

カラム見出し	作成	アップデート	削除	説明
AltFirstName	オプション	オプション	使用不可	<p>ユーザの名の代替スペリング。国際的に認識される形式 (ASCII 文字のみ) をとります。この値は、電話インターフェイスによってユーザの検索およびメッセージのアドレス指定に使用されます。</p> <p>ASCII 英数字の任意の組み合わせを指定できます。長さは最大 64 文字です。</p>
AltLastName	オプション	オプション	使用不可	<p>ユーザの姓の代替スペリング。国際的に認識される形式 (ASCII 文字のみ) をとります。この値は、電話インターフェイスによってユーザの検索およびメッセージのアドレス指定に使用されます。</p> <p>ASCII 英数字の任意の組み合わせを指定できます。長さは最大 64 文字です。</p>

技術情報の入手方法、サポートの利用方法、およびセキュリティ ガイドライン

技術情報の入手、サポートの利用、技術情報に関するフィードバックの提供、セキュリティ ガイドライン、推奨するエイリアスおよび一般的なシスコのマニュアルに関する情報は、月刊の『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。ここでは、新規および改訂版のシスコの技術マニュアルもすべて記載されています。次の URL からアクセスできます。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

CCVP, the Cisco logo, and the Cisco Square Bridge logo are trademarks of Cisco Systems, Inc.; Changing the Way We Work, Live, Play, and Learn is a service mark of Cisco Systems, Inc.; and Access Registrar, Aironet, BPX, Catalyst, CCDA, CCDP, CCIE, CCIP, CCNA, CCNP, CCSP, Cisco, the Cisco Certified Internetwork Expert logo, Cisco IOS, Cisco Press, Cisco Systems, Cisco Systems Capital, the Cisco Systems logo, Cisco Unity, Enterprise/Solver, EtherChannel, EtherFast, EtherSwitch, Fast Step, Follow Me Browsing, FormShare, GigaDrive, HomeLink, Internet Quotient, IOS, iPhone, IP/TV, iQ Expertise, the iQ logo, iQ Net Readiness Scorecard, iQuick Study, LightStream, Linksys, MeetingPlace, MGX, Networking Academy, Network Registrar, *Packet*, PIX, ProConnect, ScriptShare, SMARTnet, StackWise, The Fastest Way to Increase Your Internet Quotient, and TransPath are registered trademarks of Cisco Systems, Inc. and/or its affiliates in the United States and certain other countries.

All other trademarks mentioned in this document or Website are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (0705R)

このマニュアルで使用しているインターネット プロトコル (IP) アドレスは、実在のアドレスではありません。マニュアル中で示される例、コマンドの画面出力、および図は、いずれも視覚的な説明のみを目的としています。実在する IP アドレスが例示されていた場合、それらは意図して使用したものではありません。

Copyright © 2007, Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

お問い合わせは、購入された各代理店へご連絡ください。

シスコシステムズでは以下のURLで最新の日本語マニュアルを公開しております。
本書とあわせてご利用ください。

Cisco.com 日本語サイト

http://www.cisco.com/japanese/warp/public/3/jp/service/manual_j/

日本語マニュアルの購入を希望される方は、以下のURLからお申し込みいただけます。

シスコシステムズマニュアルセンター

<http://www2.hipri.com/cisco/>

上記の両サイトで、日本語マニュアルの記述内容に関するご意見もお受けいたしますので、
どうぞご利用ください。

なお、技術内容に関するご質問は、製品を購入された各代理店へお問い合わせください。



シスコシステムズ合同会社

〒107-6227 東京都港区赤坂 9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先 (シスコ コンタクトセンター)

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter>

0120-933-122 (通話料無料)、03-6670-2992 (携帯電話、PHS)

電話受付時間: 平日 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00